

つなごう!
Re:Think インフラプロジェクト
新潟の未来!

道路、橋、河川。私たちの暮らしを支えるインフラを、国や県などの行政とともに専門的な知識と技術で支えているのが「建設コンサルタント」です。新潟市内に拠点を置く2社の技術者を訪ねました。

計画・設計を通して「防災」に携わる

エヌシーイーの小湯修也さん(28)は、流域防災部に属し、主に河川分野の計画や設計、氾濫解析を担当しています。長岡市の浄土川では、護岸設計を進めている最中に水害に見舞われるという事態に、「信濃川のバックウオーター現象により家屋は浸水。辺り一面が水浸しになったことから、計画の見直しを発注者に提案しました」。住民にも話を聞いた小湯さんは「防災」の大切さ、自身の仕事の重要性を改めて感じたそう。「設計したものが形になるのもうれしいですが、暮らしを守ることに関わられる、それは大きなやりがいにつながっています」

完成した達成感。次の仕事の原動力に

開発技建の品田雅人さん(36)は、北陸自動車道の上に架かる「くろさき茶豆大橋」に設計担当者の1人として関わりました。橋の設計は「どこから始めてどこで終わりにするか、橋脚をどこに置くか、材料や形式はどうするかなど、設計と計算を同時に進める」のだとか。品田さんがこれまで関わってきたのは10橋以上。設計が終わった後でも工事が気になり、近くを通ると遠回りして見に行くこともあるそう。「完成すると、無事に橋が架かったと満足感があります。その気持ち、次の仕事の原動力です」。北陸自動車道を利用する際は必ず目に入るの、子どもが大きくなってからここを通ることを楽しみにしているのだとか。



わたしの体験記はWebで見てねー!

ナビゲーター
チカコホンマ

1994年生まれ、千葉県出身。「よしもと新潟県住みます芸人」として活動するほか、「チカボン」名義でYouTuberとしても活躍。2人目のインフラナビゲーターとして未来の新潟を創る建設人をレポート!



第6回 | 調査・設計のスペシャリスト

私たちは「Re:Think インフラプロジェクト つなごう!新潟の未来!」を応援します



株式会社曙建設 エヌシーイー株式会社 開発技建株式会社 株式会社笠原建設 株式会社キタック 一般社団法人建設コンサルタンツ協会北陸支部 株式会社中元組 特定非営利活動法人にいがた地域創造センター
西田建設株式会社 藤木鉄工株式会社 一般社団法人北陸地域づくり協会 株式会社水倉組

企画・制作 新潟日報ビジネス局